

成績発表

第45回錬成大会

ID 724944411

(市内在住の優勝者 敬称略)

6月14日(日) 錬成館

弓道の部 参加者数93人

◆中学男子の部

成田瑛太(暁中3年)

◆中学女子の部

渡辺心子(藤浪中3年)

◆一般女子の部

今見治代(津島弓道会)

柔道の部 参加者数108人

◆小学女子1・2年の部

御法川さゆり(津島柔道会・2年)

◆小学女子5・6年の部

萱原彩奈(津島柔道会・5年)

◆中学男子1年の部

宮下英三(暁中)

6月21日(日) 錬成館

剣道の部 参加者数170人

◆小学6年の部

吉川響真(神守小)



全国大会出場

2026年全日本卓球選手権大会(マスターズの部)

(三重県津市)

出場種目 卓球

おだたかし
小田幸士さん(越津町)



おおしまひでき
大島英樹さん(百島町)

ささきけんじ
佐々木健志さん(唐臼町)



集まれ! つしまの アイドル

“つしまのアイドル”と称して、市内に在住する3歳までのお子さんの写真を、保護者の方からいただいた、お子さんへのメッセージとともに紹介します! ※申込時点



LINEの友だち追加はこちら

申し込みは、市LINE公式アカウントの専用申込フォームからのみ受け付けています。たくさんの申し込みお待ちしております。

※掲載を必ずお約束するものではありません。
※名前の表記は、お子さん全員「ちゃん」で統一しています。

み
ひな実ちゃん(神守町)
令和7年5月生まれ
笑顔が毎日の癒しです♪
これからも元気に
健やかに育ってね!



ひなた
陽葵ちゃん(米之座町)
令和8年6月生まれ
兄と姉と歳の離れた3人目。
みんなにちやほや愛され
ながらすくすく育ってます。



りょう
涼ちゃん(江西町)
令和7年7月生まれ
産まれてきて1年
早かったね。皆でたくさん
お出かけしようね。





感震ブレーカーを 設置しましょう!

◆問合 消防本部予防課 ☎23-0419

地震による火災の原因は?

過去の大地震では建物の倒壊だけでなく、火災の被害が多く発生しています。

東日本大震災による火災では、原因の特定されたもののうち、過半数は電気に起因したものでした。また、能登半島地震においても、輪島市内の木造密集地域で発生した火災は、約240棟が焼損した大規模火災となりましたが、本火災の原因も**電気の可能性が高い**とされています。

このように、地震が引き起こす電気火災とは、地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧した時に発生する火災があります。

対策として

これらの火災対策には「感震ブレーカー」が効果的です。

感震ブレーカーは震度5強相当の地震を感知すると、電気を自動で遮断するので、不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に、電気火災を防止する有効な手段です。



感震ブレーカーの購入費を補助します

7月より感震ブレーカー設置費補助金交付の受付が始まっています。

対象 市内において自らが居住するために所有する住宅に感震ブレーカーを設置した個人

対象となる感震ブレーカー 一般社団法人日本消防設備安全センターが**コンセントタイプ**および**簡易タイプ**として認証しているもの、またはこれらと同等の機能を有すると認められるもの。

補助金上限額 3,000円

申込 感震ブレーカー購入費補助金交付および取り付け支援について、市ホームページをご覧ください。どうか、問い合わせ先へご確認ください。

取り付けを支援します

住宅用火災警報器と感震ブレーカーの取り付けが困難な、高齢者や障がい者世帯を対象に、消防職員がお宅を訪問し、無償で取り付けをお手伝いします。

※取り付けする機器は、ご自身で用意してください。

「まさかの! 火事」 住宅用火災警報器で助かる 命があります。



住宅用火災警報器は、
住宅火災を早期に把握し、逃げ遅れを防ぐことができます。

奏功事例

- ①1階居間のこたつの消し忘れで出火。2階で就寝中の居住者が階段の住宅用火災警報器の鳴動で火災に気づき、**通報・避難できた。**
- ②鍋を火にかけたままその場を離れたところ、室内に煙が充満し住宅用火災警報器が鳴動した。警報音に気づき**早期に対処でき、火災には至らなかった。**
- ③就寝中、住宅用火災警報器が鳴動、目を覚ますとテーブル上の灰皿周囲から出火しているのを発見。**初期消火ができ、被害を最小限に抑えることができた。**

維持管理

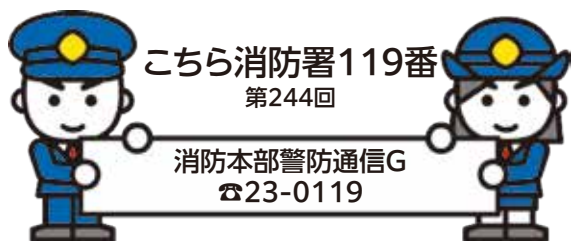
定期的な点検を!

ボタンを押すまたは紐を引いて定期的に点検しましょう。警報音とランプが付かなければ交換が必要です。

10年を目安に交換を!

設置後は、電池の消耗だけでなく感知センサー部分の機器寿命も含め10年を目安に本体すべての交換をお願いします。

すべての住宅に住宅用火災警報器の設置は義務化されています!



レジャー事故防止対策

これから暑いシーズンを迎えます。夏季に多い水の事故等、屋外の事故を未然に防ぐために気をつけていただきたいことを紹介します。

火を使う場合の事故を防ぐために

- ・バーベキューや花火をする時は、近くに水を用意しておきましょう。また、強風時は火の使用を控えるようにしましょう。
- ・カセットコンロを2台並べての使用や、コンロを覆うような調理器具の使用は大変危険です。いずれもガスボンベの過熱を招き、爆発事故に繋がる恐れがあります。
- ・着火剤を使用する時は、十分に距離を取ってから点火してください。一度火をつけたら着火剤のつぎ足しは、絶対に行わないでください。
- ・テント内等でカセットコンロを使用すると一酸化炭素中毒や酸欠になる場合があります。屋外であっても狭い空間で使用される場合は換気に注意しましょう。

水の事故を防ぐために

- ・海や川などで水遊びをする場合は、遊泳禁止区域や立入禁止区域には絶対に入らないようにしましょう。また、気象状況に注意を払い、河川の増水等の危険が予測される時は近づかないようにしましょう。
- ・体調がすぐれない時や睡眠不足の時は、遊泳を控えましょう。また、飲酒しての遊泳は、事故に繋がりがやすく大変危険です。
- ・海や川では、こども1人で水遊び等をさせず、必ず保護責任のある方が付き添い、ライフジャケットを着用しましょう。また、幼児の場合、浅瀬や水深の浅いプール等でも溺れる危険性があるので目を離さないようにしましょう。
- ・溺れている人を発見した場合、自分ひとりで助けようと思わず、まずは周囲の人に知らせ、消防署(119番通報)へ連絡してください。

熱中症を防ぐために

- ・外出時は、帽子の着用や日傘の活用など、直射日光を避ける工夫をしましょう。
- ・夏場の車内の温度は、短時間で高温になります。少しの間でもこどもを車内に残さないようにしましょう。
- ・のどが渇く前に、こまめに水分補給をしましょう。体調不良の時は無理せず休憩しましょう。

一人ひとりが事故防止対策を意識し、安全で楽しいレジャーを心掛けましょう。

